

なでしこ通信



令和7年1月10日発行

vol.192

三重県済生会明和病院なでしこ 〒515-0312 三重県多気郡明和町大字上野435

TEL・FAX : 0596-53-0010 メール : nadeshiko@meiwa-saiseikai.jp ※重症心身障害児(者)に特化しているため旧名称を記載しております

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。年末から多くの感染症が流行っていますが、みなさま穏やかな新年を迎えられましたでしょうか。今年は60年周期の干支(十干十二支)では乙巳(きのとみ)にあたり、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているそうです。なでしこでは昨年度、感染対策を行いつつ、社会との接点を持ち、

食べる・味わうことを楽しんでもらえるように食事のテイクアウトや外出活動に力を入れました。また大規模災害対策を具現化すべく準備を進めています。今年も引き続きそれらを中心に取り組み、なんとか実を結んでいけるように努力していくつもりです。世界情勢は不安定で物価は上がり、職員も不足し、厳しい状況ではありますが、なで

しこの理念である「みんなを笑顔に」をモットーに職員一同一生懸命取り組んで参りますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(施設長：山川紀子)



なでしこデザートフェア



年に一度のデザートバイキング。今年は華王殿さんとブロッサムさんにケーキをお願いして、名前もなでしこデザートフェアに変更しました。

ケーキ屋さんの美味しいケーキを食べることを楽しみいつもと違う雰囲気を感じてもらい体験してもらいました。冷凍の

ケーキとは違い高級感があり利用者さんたちも鮮やかなケーキを前に大興奮でした。

ケーキ屋さんに依頼するのはスタッフも初めてだったため、華王殿さん、ブロッサムさんにはたくさんの要望をきいて頂き、試食会を開いてもらったりし、その中で利用者さんたちのことを考え、そしてお店に並んでいるようなものをイメージして、ケーキを選びました。

今回は親御さんたちにも参加していただき

ました。感染予防の観点より、一緒に食べていただけることは難しく、みんなで一緒に食べられるのは、まだ少し先になるかと思いますが、楽しい時間を過ごすことができました。

(介護士：米田)



通所

～Merry Christmas!! ステキなクリスマス週間♪～



今回の通所のクリスマス会は、通所を利用する皆さん全員で楽しめるよう一週間を通して行いました。利用者さんとスタッフが力を合わせたハンドベル「きらきらぼし」の演奏からスター

ト!! それぞれ担当の音を決め、この日の為に練習を重ねてきました。サンタ帽子やトナカイのかチューシャ、着ぐるみトナカイなど、1人ひとりおしゃれをしながら、心に響く素敵な音色を響かせてくれました。

スヌーズレンは、クリスマスをイメージした色合いや音楽、プロジェクトで雪山や星空、オーロラなどを映し出すと「うわあ」「きれい」「すてき」などたくさんの感動の声が聞かれました。サンタさんが登場するとみんなの興奮はマックスに!! サンタさんが近

くになると手をたたいて喜んでくれたり、ニッコリ嬉しそうな笑顔を見せてくれたりしました。プレゼントは利用者さん手作りのオーナメントでした。

冬休みにも入り、長期休暇時の利用者さんも参加でき、とても賑やかなクリスマス会となりました。また来年もみんなで楽しみましょうね!!

(保育士：城山)



.....いいものたくさん! なでしこ家族の会バザー♪



10月29日(火)「なでしこ家族の会バザー」がなでしこ玄関前にて開催されました。コロナ禍の様々な制限により約5年ぶりの開催となりましたが、なでしこ職員をはじめ、他病棟からもたくさんの職員(お客様)が来てください、なでしこ廊下はあっと言う間に大盛況となりま

した。出品物は家族の会の皆さんやなでしこ職員からの日用品の他、手作りパンやハンドメイドの巾着、クリスマスリースやブローチなどもあり、思わずひとつひとつ見入ってしまうほど素敵な出品物ばかりでした。中でも手作りパンは行列ができ、すぐに売り切れてしまうほど大繁盛でした。

短い時間でしたが、ご協力いただきました家族の皆さんや来ていただいた職員の皆さんとの楽しそうな笑い声や嬉しそうな表情を見ることができ、また来年も開催することができれば良いなと思いました。家族の会の皆さんには多くのご協力をいただき

き、本当にありがとうございました。

今回の収益金は利用者さんにとって還元し、まずは“心魂プロジェクトコンサート”の音楽鑑賞に使用したいと考えています。

(保育士:大杉)



.....ドキドキ!明和町民文化祭に作品出展!



11月3日(日)に明和町民文化祭が開催され、なでしこの利用者が作品を出展することになりました。せっかくの楽しい文化祭! 出展された利用者さんと一緒に文化祭会場のDreamオーシャン体育館に出向き、作品を見てきました。出展作品は、リボンでできた可愛いリースで、

利用者さんと職員、お母さんが協力して日々コツコツ作り上げた作品です。そんな私たちの思いが籠った作品が地域の皆さんにも見てもらうことができ、とても嬉しい限りです。

なでしこ利用者の作品を見た後は、他の展示作品を見て回り、油絵や写真、手芸や俳句まであり、色々な芸術に触れ合うことができました。またストリートピアノがロビーに設置されており、地域の皆さんのが自由に演奏されていて、とても素敵な空間で休憩することができました。

今回、地域の文化祭に作品を出展するという新しい試みでし

たが、地域の方々になでしこのことを知ってもらえるとてもいい機会になったのではないかと思います。

(指導員:別所)





オシャレを、ファッションを楽しむ

ご家族の方から「行事等のイベントで着させてあげて下さい」とおしゃれ着をお預かりしている利用者さんがあります。バースデーセレモニーや七五三、還暦のお祝いなど利用者さんの大切なライフイベントに、とっておきのおしゃれをして過ごせるように、なでしこ介護職員としてサポートをしていきたいと日々考えています。そんな中で、気になる記事に出会ったので紹介します。

～重症障害者おしゃれ満喫～

『日南市風田の愛泉会日南病院11月1日、重症心身障害の入院患者が出演するファッションショーが催される。本番を前に、患者たちは市内の衣料品店による病院内での出張販売で上着などを購入。自ら選んだ服を着た姿の披露を楽しみにしている。長年病棟内で生活する患者たちにファッションを通じて自分らしさを見つけ、生きがいを感じてもらおうと

同病院が企画。出張販売は同市のユニクロ日南店が協力した。病院内でユニクロの商品を販売するのは県内では初の試みという。同店の久世佳奈店長は「患者の皆さんのが嬉しそうで、こちらも幸せな気持ちになった。服を選ぶ喜びを共有でき、服飾業界に尽くる」と感激した様子だった。』

(2023年10月29日発行
宮崎日日新聞より抜粋)

～「誰もがおしゃれできる社会に」見落とされた「見た目」障害支援で実現～

『紫のサングラスにカラフルな帽子、ラメ入りのネイルに大きなイヤリング。福岡市東区の生活介護施設「myself(マイセルフ)」に入ると作業をする人たちの自由な装いが目を引いた。』『おしゃれが難しい最大の理由は介護が必要だからだ。脱ぎ着を簡単にし、事故も防ぐように、装飾を排し機能性を重視した服装になりやすい。家庭では難しくても、職員がサポー

トできる施設で、介護とおしゃれを両立しようと思い立った。「今日のめがね、いい感じ」「そのスカート、似合うね。」取り組みを始めて、雑談やポジティブなコミュニケーションが増え、自我が芽生えて以前よりも笑顔を見せるようになった人も多いという。「施設外の人にとっては普通のこと。」誰もがおしゃれできる社会にする、小さな一步です。』

(2013年11月14日
発行西日本新聞から抜粋)

ファッションを楽しんだり、自分を表現したりすることが障害のあるなしに関わらずできるように支援する取り組みになでしこにもつながるものがあると感じました。好きなキャラクターのヘアゴムで髪を結んだり、髪の毛をセットしてから散歩に行ったり、利用者さんの暮らしをより彩り豊かに出来るよう日々支援していきたいです。

(介護士：八木)

…全国重症心身障害児(者)を守る会創立60周年記念大会…

全国重症心身障害児(者)を守る会創立60周年記念大会に参加しました。天皇皇后両陛下のご臨席のもと小池百合子東京都知事も出席されました。守る会会長のあいさつから始まり、その後天皇陛下からの御言葉の中に「最も弱いものをひとりももれなく守る」という理念に基づいて始められたこの会が、重い障害のある人たちに対する社

会の理解を更に深め、それぞれの生きる道について様々な可能性を引き出していくことを期待します」とありました。その後、体験発表や誓いの言葉などがあり、本人や家族が望んだ生活ができるよう活動していきたいと守る会の皆様が言われていました。その思いに寄り添えるケアをしていかなければならぬと改めて強く感じました。

今回の大会に参加して、家族の願いや思いを聞くことができたと思います。これをなでしこに持ち帰り、日々の業務の中で活かしていくよう努力していきます。これからも利用者さんとご家族の方々に、寄り添ったケアができるよう努めていきますのでこれからもよろしくお願いします。

(介護主任：川口)

ご寄付をお願いいたします

当施設では、皆様からのご寄付を受け付けております。施設に賜りましたご寄付は当施設の利用者さんの日常生活がより充実したものになるよう職員一同大切に活用させていただきます。多くの皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。

※なでしこ通信の発行は3ヶ月に1回となります。※本誌に記入されている写真は本人または、家族の了承を得て使用しています。